



2027年1月期 第1四半期決算説明資料

2026年6月

Japan Eyewear Holdings 株式会社 (証券コード5889)

01 2027年1月期第1四半期 業績概況

02 事業セグメント別業績

01

2027年1月期第1四半期 業績概況

2027年1月期第1四半期実績

売上収益	4,854百万円	(+15.8%)	◆ 売上収益・営業利益は第1四半期として過去最高額を達成
売上総利益率	79.4%	(▲0.2pts.)	◆ 店舗売上が14.0%増加し、売上収益成長に貢献
営業利益	1,680百万円	(+28.5%)	◆ アジアを中心とした海外において、当社ブランドのファンが増加していることもあり、海外直営店・海外卸・国内店舗インバウンド売上は順調に推移。また、国内店舗日本人向け売上も堅調
営業利益率	34.6%	(+3.4pts.)	◆ 営業利益率は一過性の収益計上影響もあり35%に迫る高水準
四半期利益	1,066百万円	(+36.2%)	◆ 当期利益は前年同期に発生した一過性の法人所得税費用増加の反動もあり、前年同期比36.2%増加の約11億円となった

金子眼鏡セグメント

売上高	3,434百万円	(+20.3%)	◆ 店舗売上が14.3%増加し、売上高成長に貢献
セグメント利益	1,385百万円	(+28.8%)	◆ 国内店舗の既存店売上高前年比は107.5%
			◆ 海外1店舗の新規出店を実施

フォーナインズセグメント

売上高	1,419百万円	(+6.2%)	◆ 店舗売上が12.8%増加し、売上高成長に貢献
セグメント利益	383百万円	(+9.2%)	◆ 国内店舗の既存店売上高前年比は105.7%
			◆ 国内2店舗の新規出店を実施

() 内は前年比

連結PL（前年同期比）

- 売上収益は前期比15.8%増の約49億円、営業利益は前期比28.5%増の約17億円
- 売上総利益率は79.4%、営業利益率は34.6%と高水準を維持
- 当期利益は前年同期に発生した一過性の法人所得税費用増加の反動もあり、前年同期比36.2%増加の約11億円となった

百万円

	2026/1期Q1	2027/1期Q1	増減	前年同期比
売上収益	4,191	4,854	662	115.8%
売上原価	857	1,001	144	116.8%
売上総利益	3,334	3,852	518	115.5%
売上総利益率	79.5%	79.4%	▲ 0.2Pt	
販売費及び一般管理費	2,026	2,258	231	111.4%
その他の収益/その他の費用（▲）	0	86	85	-
営業利益	1,307	1,680	372	128.5%
営業利益率	31.2%	34.6%	3.4Pt	
EBITDA	1,766	2,173	406	123.0%
EBITDA率	42.1%	44.8%	2.6Pt	
調整後EBITDA	1,787	2,137	349	119.6%
金融収益/金融費用（▲）	▲ 79	▲ 108	▲ 29	137.8%
税引前利益	1,228	1,571	343	127.9%
法人所得税費用	445	505	59	113.4%
四半期利益	782	1,066	283	136.2%
調整後四半期利益	797	1,041	244	130.6%

注:

1. EBITDA=営業利益+減価償却費+識別可能資産償却
2. 調整後EBITDA=EBITDA（営業利益+減価償却費+識別可能資産償却費）+上場関連費用（注3）+買収関連費用（注4）-一過性収益
3. 法律事務所への支払報酬や外部コンサルタント費用等の上場に関連する一時的な費用であります。
4. 2025年1月期にタイホウ社、2026年1月期にハンズ社を買収した際の費用であります。

連結PL（通期予想進捗）

- 第1四半期実績の通期予想に対する進捗率は、売上収益23.6%、営業利益24.7%、当期利益24.2%
- 業績の季節性を考慮すると、進捗率に問題なく想定通りの結果

百万円

	通期予想	2027/1期Q1	進捗率
売上収益	20,600	4,854	23.6%
売上原価	4,100	1,001	24.4%
売上総利益	16,500	3,852	23.3%
売上総利益率	80.1%	79.4%	-
販売費及び一般管理費	9,700	2,258	23.3%
その他の収益/その他の費用（▲）	0	86	-
営業利益	6,800	1,680	24.7%
営業利益率	33.0%	34.6%	-
EBITDA	8,600	2,173	25.3%
EBITDA率	41.7%	44.8%	-
調整後EBITDA	8,600	2,137	24.9%
金融収益/金融費用（▲）	▲ 300	▲ 108	36.3%
税引前利益	6,500	1,571	24.2%
法人所得税費用	2,100	505	24.1%
当期利益/四半期利益	4,400	1,066	24.2%

注:

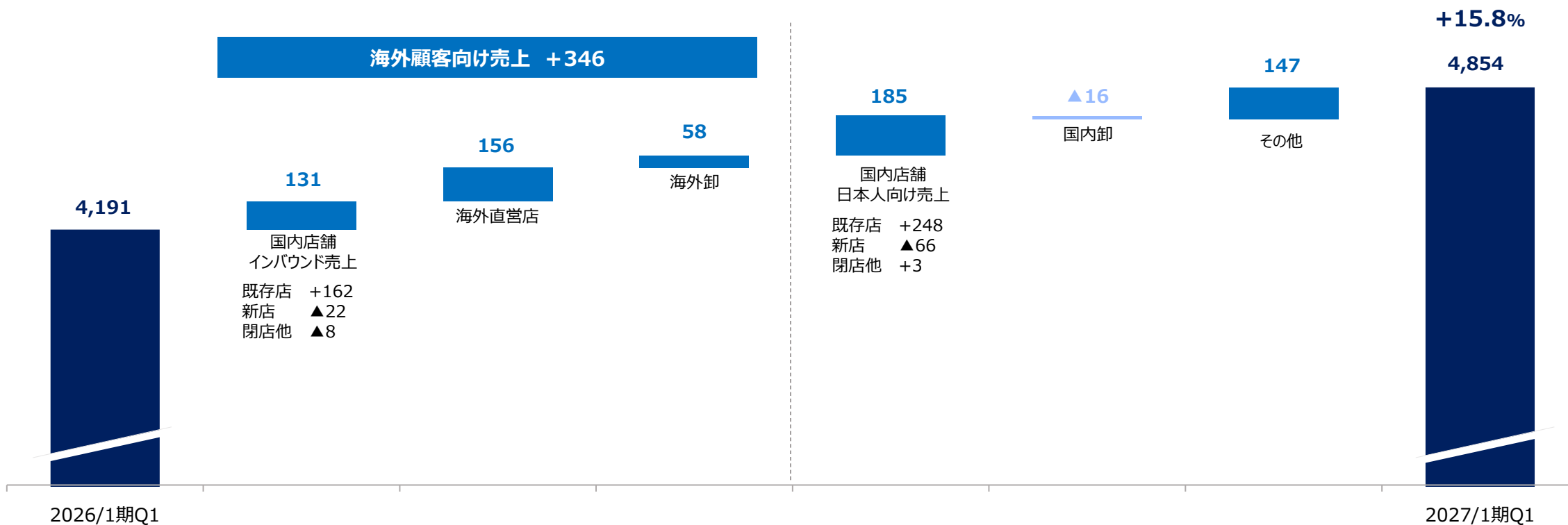
1. EBITDA=営業利益+減価償却費+識別可能資産償却
2. 調整後EBITDA=EBITDA（営業利益+減価償却費+識別可能資産償却費）+上場関連費用（注3）+買収関連費用（注4）-一過性収益
3. 法律事務所への支払報酬や外部コンサルタント費用等の上場に関連する一時的な費用であります。
4. 2025年1月期にタイホウ社、2026年1月期にハンズ社を買収した際の費用であります。

売上収益増減

- 連結売上収益は前年同期比+15.8%の約49億円を達成
- 引き続き堅調なインバウンド売上により海外顧客向け売上は前年比約3.5億円増。新規出店を含む国内店舗における日本人向け売上は約1.9億円増

第1四半期

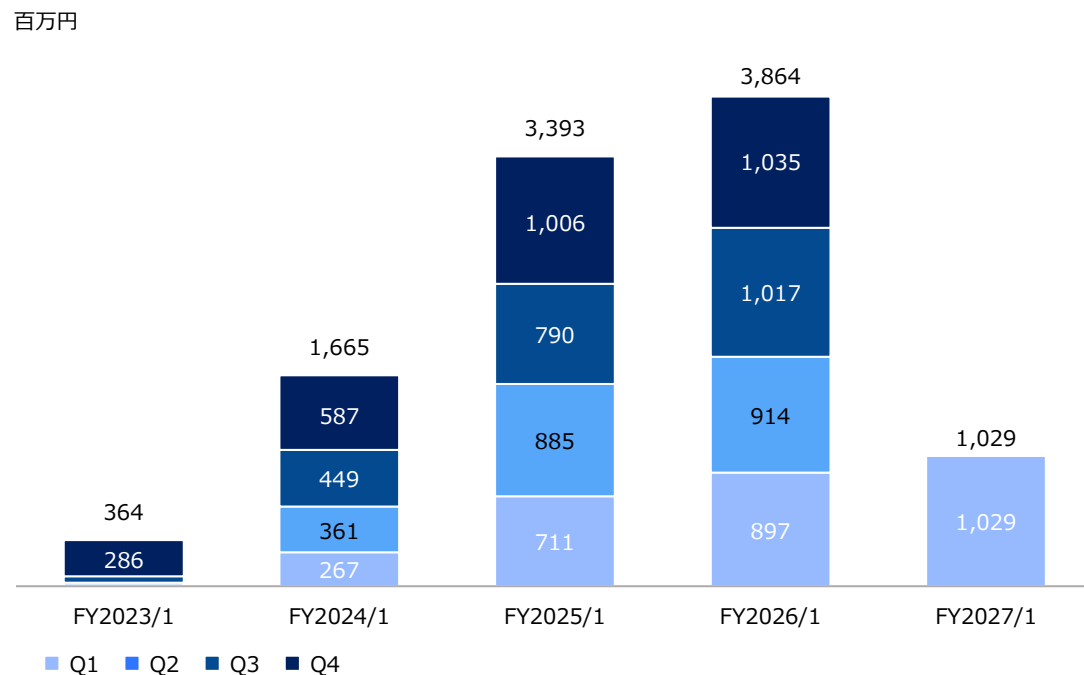
百万円



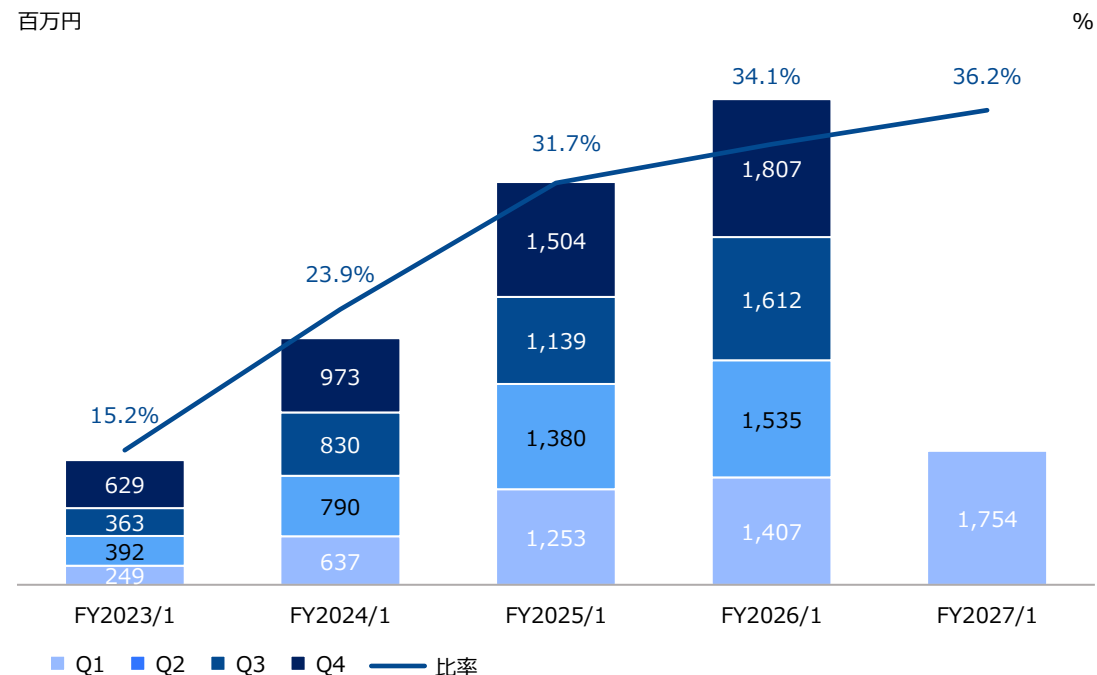
連結PL（海外向け売上）

- 第1四半期の国内店舗におけるインバウンド顧客向け売上は、前年同期比14.7%増の約10億円となった
- 第1四半期の海外顧客向け売上は前年同期比24.6%増の約18億円となり、連結売上に占める比率は36.2%を達成

四半期別インバウンド売上 (1)



海外顧客向け売上金額・比率 (3)



第1四半期インバウンド売上1,029百万円
2026年2月～2026年4月訪日者数10,777千人 (2)

前年同期比 +14.7%
前年同期比 +1.1%

注:

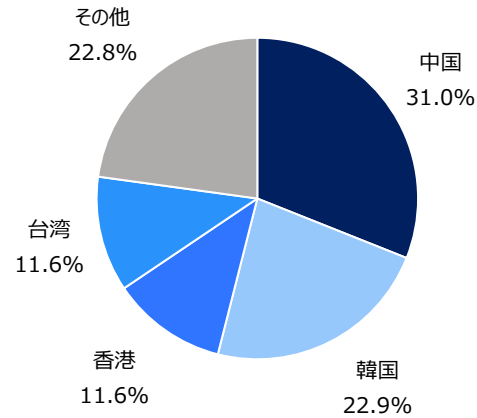
1. 国内直営店における訪日外国人顧客による売上収益（卸販売先におけるインバウンド売上は含まない）
2. 2026年5月20日付日本政府観光局（JNTO）リリースより、2026年3月及び2026年4月は推計値
3. 海外直営店舗での売上収益、海外における卸売による売上収益、インバウンドの売上収益（直営店における訪日外国人顧客による売上収益を指しており、国内卸売における訪日外国人観光客による売上収益は含まない）を加算したデータ。これを連結売上で除したものを比率としている

インバウンド売上

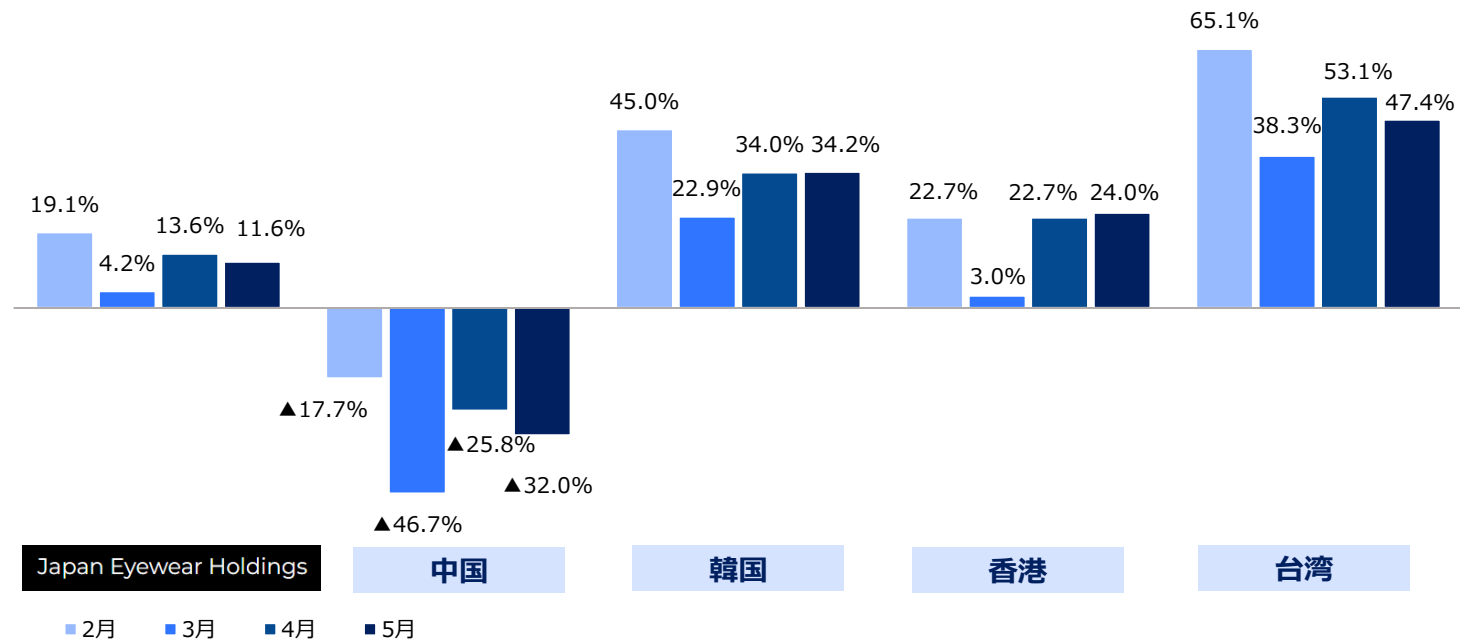
- 国内店舗におけるインバウンド売上のうち約80%を中国・韓国・香港・台湾からの顧客が占めるが、中国の割合が2026年1月期から約15ポイント低下
- 引続き、中国からの訪日者数減少の影響を受けたが、その他地域からのお客様向け売上の伸びにより相殺

Japan Eyewear Holdings

国別インバウンド売上
(2027年1月期Q1実績) (1)(2)



国別インバウンド売上前年同月比
(2026年2月 - 2026年5月速報ベース) (1)(3)



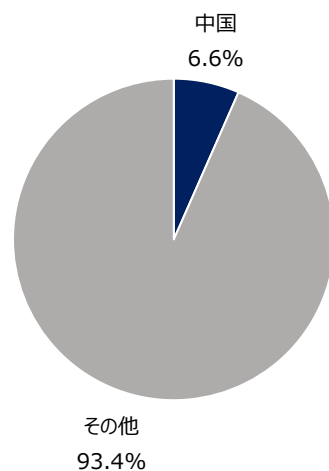
注:
1. 金子眼鏡セグメント及びフォーナインズセグメントにおける合計値
2. 2026年2月 - 2026年4月の合計値
3. 2026年2月 - 2026年5月速報の各月における実績値

インバウンド売上

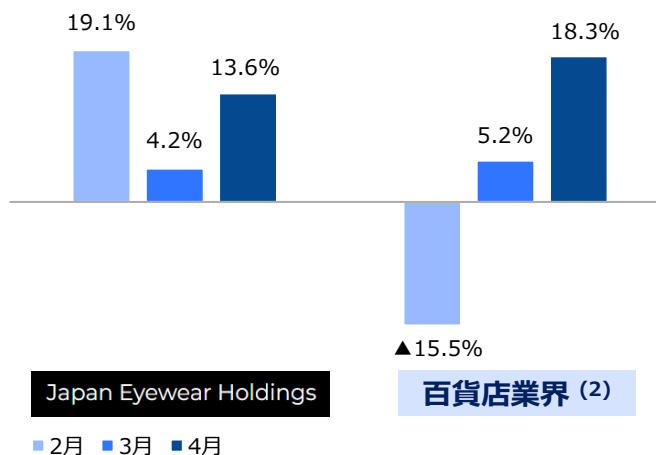
- 連結売上収益に対するインバウンド売上のうち中国からの顧客向け売上の割合は7%弱となり、2026年1月期比3ポイント低下
- 当社のインバウンド売上は、百貨店業界の免税売上とは異なる傾向にある
- インバウンド売上のうち中国からの顧客向け売上は、中国からの訪日者数の減少幅と比較してマイナス幅は大きくない

Japan Eyewear Holdings

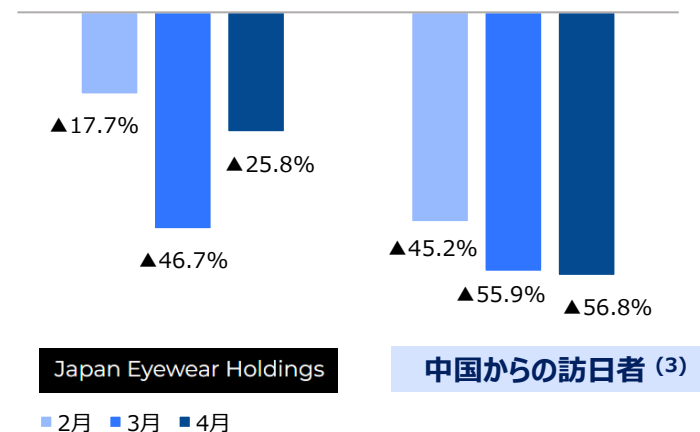
連結売上に占める中国顧客向け売上比率
(2027年1月期Q1実績) (1)



百貨店における免税売上と当社インバウンド売上の前年同月比の比較
(2026年2月 - 2026年4月速報ベース) (2)



中国からの訪日者数と当社インバウンド売上のうち中国顧客向け売上の前年同月比の比較
(2026年2月 - 2026年4月速報ベース) (3)

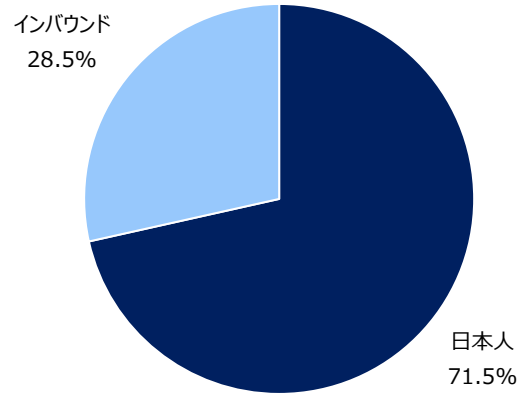


注:
1. 国内店舗売上における中国からの訪日者向け売上の合計を連結売上収益で除した数値
2. 百貨店は日本百貨店協会開示資料を参照。当社はインバウンド売上高合計を参照
3. 中国からの訪日者数は日本政府観光局の公表データを使用

日本人向け売上

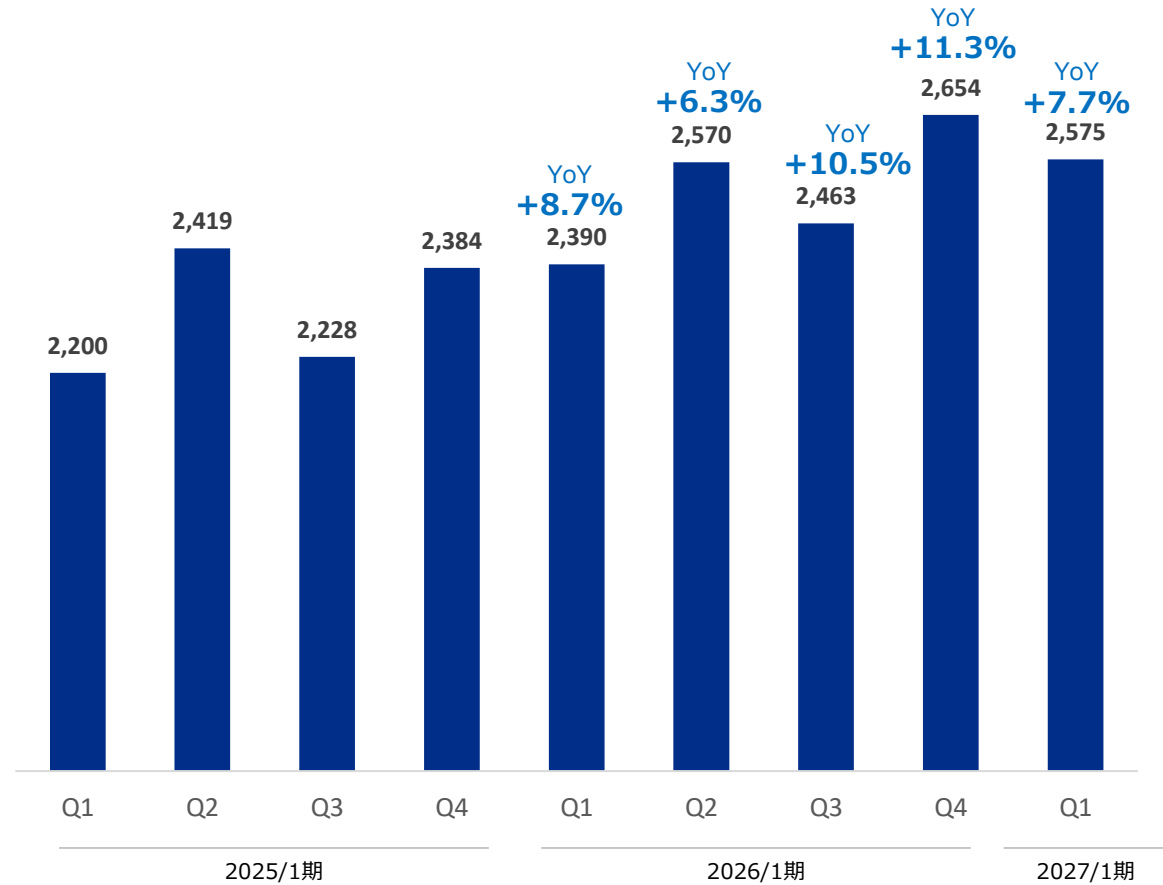
- 国内店舗売上に占める日本人向け比率は約72%
- 国内における厳選した立地への新規出店、一式単価の上昇などにより、国内店舗における日本人向け売上は堅調に推移している

国内店舗売上に占める日本人向け売上比率
(2027年1月期第1四半期実績)



国内店舗における日本人向け売上推移

百万円



連結販管費

- 販管費は2億円増加。主な増加要因は店舗数増加、店舗売上増加に伴う費用増

百万円

	2026/1期Q1	2027/1期Q1	増減/pt差	前年同期比	備考
販売費および一般管理費合計	2,026	2,258	231	111.4%	
売上比	48.4%	46.5%	▲ 1.8Pt		
人件費	772	894	121	115.8%	主として店舗数増による人件費増
売上比	18.4%	18.4%	▲ 0.0Pt		
減価償却費 ⁽¹⁾	438	470	32	107.5%	出店に伴う使用権資産償却増
売上比	10.5%	9.7%	▲ 0.7Pt		
賃借料	253	288	34	113.4%	店舗売上増加に伴う歩合家賃増
売上比	6.1%	5.9%	▲ 0.1Pt		
支払手数料	117	129	12	110.6%	
売上比	2.8%	2.7%	▲ 0.1Pt		
販売促進費	108	140	31	128.7%	
売上比	2.6%	2.9%	0.3Pt		
販売代行手数料	84	100	15	118.5%	店舗運営委託先向け手数料
売上比	2.0%	2.1%	0.0Pt		店舗売上増加に伴い増加
広告宣伝費	16	10	▲ 5	67.3%	
売上比	0.4%	0.2%	▲ 0.2Pt		
その他	235	223	▲ 11	95.0%	
売上比	5.6%	4.6%	▲ 1.0Pt		

注:

1. 減価償却費には店舗賃貸借にかかる使用権資産の償却が含まれています。(2026/1期 356百万円、2027/1期 378百万円)

連結貸借対照表

- 流動資産10億円減少のうち、現預金残高が7億円減少、棚卸資産が約2億円増加
- 当期利益計上によるプラス、配当金支払によるマイナスにより資本合計は1億円増加

百万円

	2026/1月末	2026/4月末	増減	対前期末
総資産	39,911	39,678	▲ 232	99.4%
構成比	100.0%	100.0%		
流動資産	7,340	6,312	▲ 1,027	86.0%
構成比	19.1%	15.9%		
非流動資産	32,570	33,366	795	102.4%
構成比	82.1%	84.1%		
流動負債	16,570	4,471	▲ 12,098	27.0%
構成比	41.8%	11.3%		
非流動負債	5,152	16,918	11,765	328.3%
構成比	13.0%	42.6%		
資本合計	18,187	18,288	100	100.6%
構成比	45.8%	46.1%		
銀行借入金残高	11,950	11,950	-	100.0%
棚卸資産	2,416	2,602	186	107.7%

連結キャッシュ・フロー計算書

- 法人所得税の支払、株主様への配当金支払等のため、前年同期末と比較して現預金が7億円減少

百万円

	2026/1期Q1	2027/1期Q1	当期実績の主な内訳	
営業キャッシュ・フロー（小計）	1,842	1,957		
営業キャッシュ・フロー	650	813	税引前四半期利益	+1,571
			減価償却費	+492
			棚卸資産の増減額（▲は増加）	▲186
			法人所得税の支払額	▲1,066
投資キャッシュ・フロー	▲ 94	▲ 221	有形固定資産の取得による支出	▲ 214
財務キャッシュ・フロー	▲ 1,395	▲ 1,334	株主への配当金支払	▲915
			リース負債の返済による支出	▲368
現金及び現金同等物期末残高	3,059	2,331		

出退店サマリー

- 2027年1月期第1四半期末の総店舗数は116
- 計3店舗の新規出店（金子眼鏡1店舗・フォーナインズ2店舗）を実施

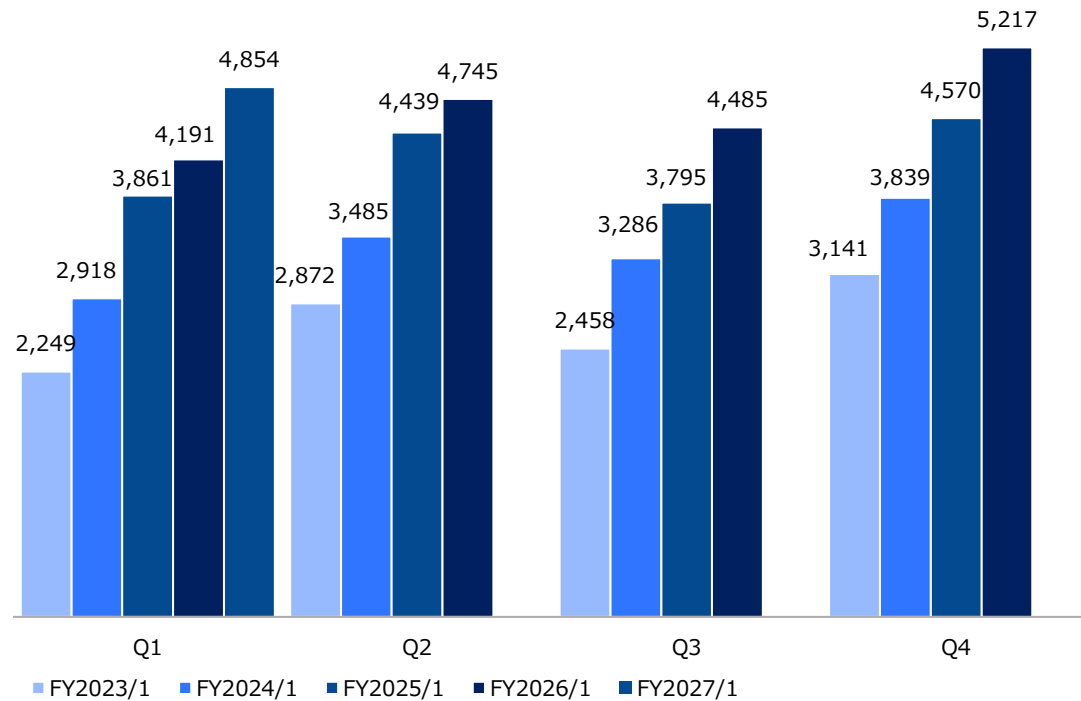
		前期末店舗数	3か月間実績			通期計画		
			出店	退店/移転	2027/1Q1 期末店舗数	出店	退店/移転	2027/1 期末店舗数
金子眼鏡	国内	84			84	1		85
	中国	4	1		5	2		6
	香港	2			2			2
	台湾	1			1			1
	シンガポール	1			1			1
	フランス	2			2			2
フォーナインズ	国内	18	2		20	4		22
	シンガポール	1			1			1
計		113	3	0	116	7	0	120

四半期別売上収益・営業利益推移

- 第1四半期の営業利益は過去最高額を更新

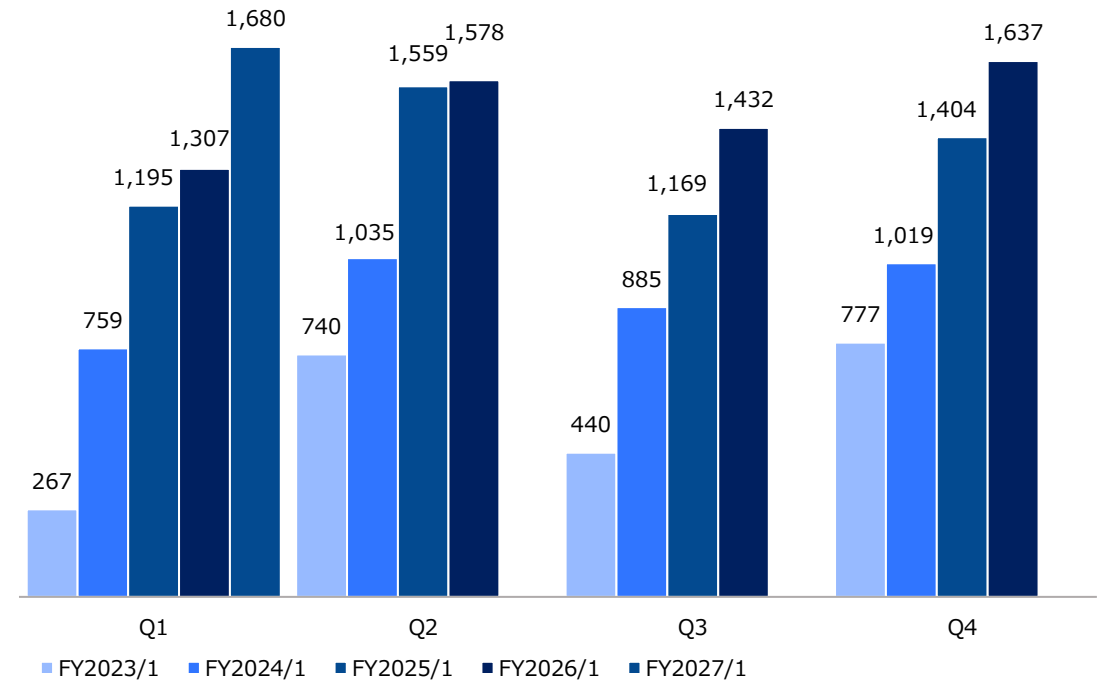
売上収益

百万円



営業利益

百万円






02

事業セグメント別業績

セグメントPL

- 金子眼鏡セグメントは+20.3%増収・+28.8%増益
- 一方のフォーナインズセグメントは海外卸売上のマイナスもあり、+6.2%増収・+9.2%増益にとどまった

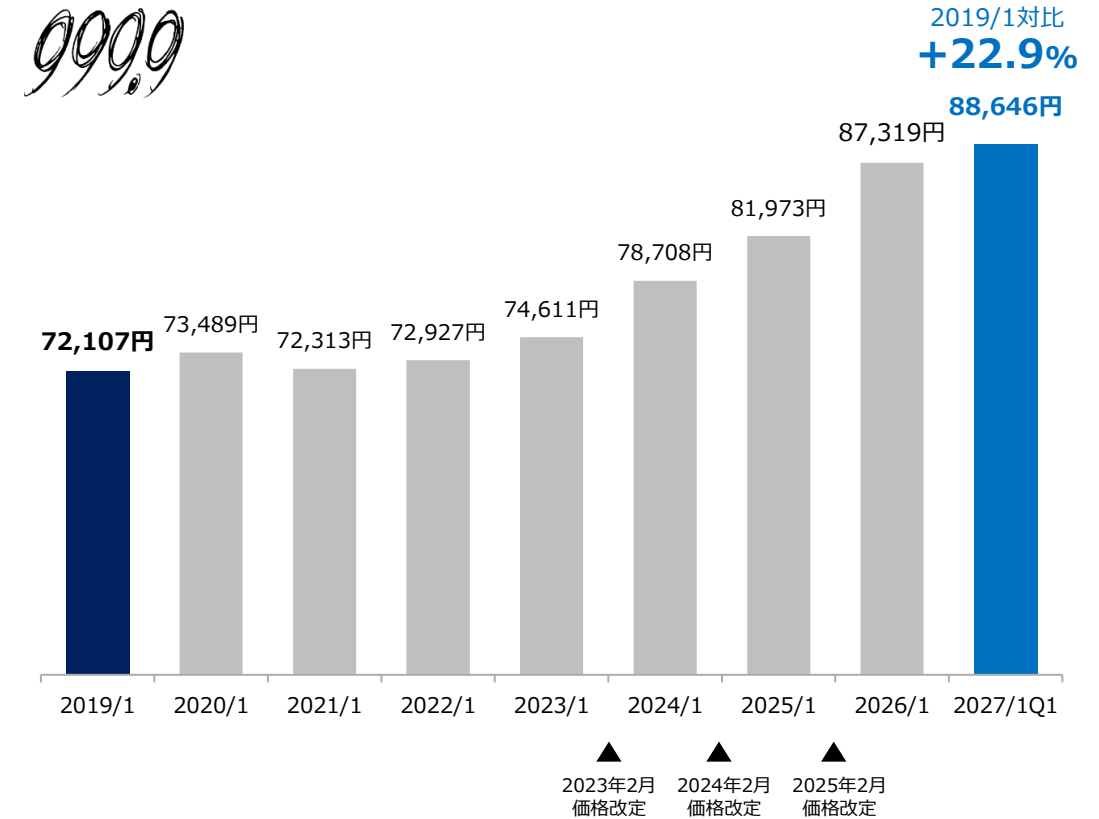
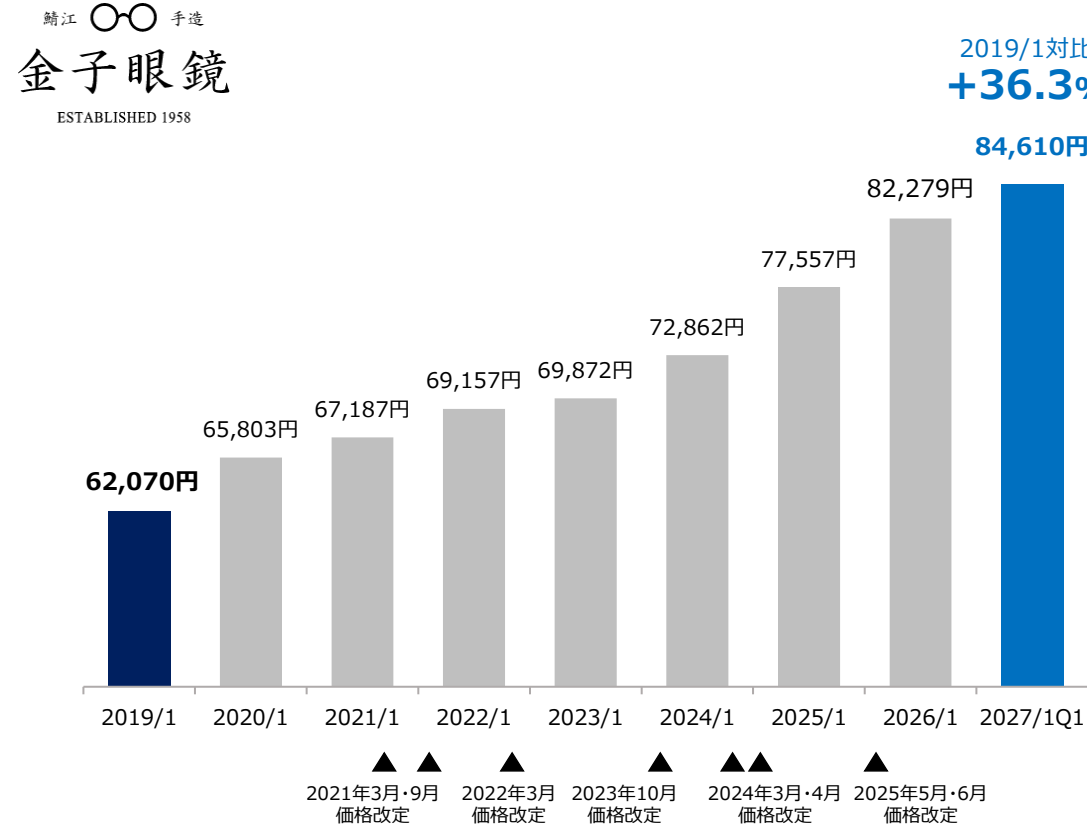
百万円

			2026/1期Q1	2027/1期Q1	増減	前年同期比
 <p>金子眼鏡 ESTABLISHED 1958</p>	売上高	店舗売上高	2,590	2,961	371	114.3%
		国内卸売上高	126	98	▲ 27	78.3%
		海外卸売上高	136	220	83	161.5%
		その他売上高	2	154	152	—
		計	2,854	3,434	579	120.3%
		セグメント利益	1,075	1,385	310	128.8%
	売上高	店舗売上高	798	900	101	112.8%
		国内卸売上高	257	268	10	104.2%
		海外卸売上高	273	248	▲ 25	90.8%
		その他売上高	7	3	▲ 4	38.6%
		計	1,336	1,419	82	106.2%
	セグメント利益	351	383	32	109.2%	
共通・調整	セグメント利益	▲ 119	▲ 88	30	74.2%	
 <p>JEH JAPAN EYEWEAR HOLDINGS</p>	売上高	店舗売上高	3,388	3,861	473	114.0%
		国内卸売上高	383	367	▲ 16	95.7%
		海外卸売上高	409	468	58	114.3%
		その他売上高	10	157	147	—
		計	4,191	4,854	662	115.8%
	セグメント利益	1,307	1,680	372	128.5%	

ブランド力を背景とした継続的な既存店成長

- 国内アイウェア市場においてプレゼンスの高い2つのブランドを有することで多様なカテゴリの商品を提供でき、グループとしてのブランド力は更に向上
- 結果として一式単価の継続的な向上を通じて既存店成長を実現する

一式単価の継続的な向上 (1)

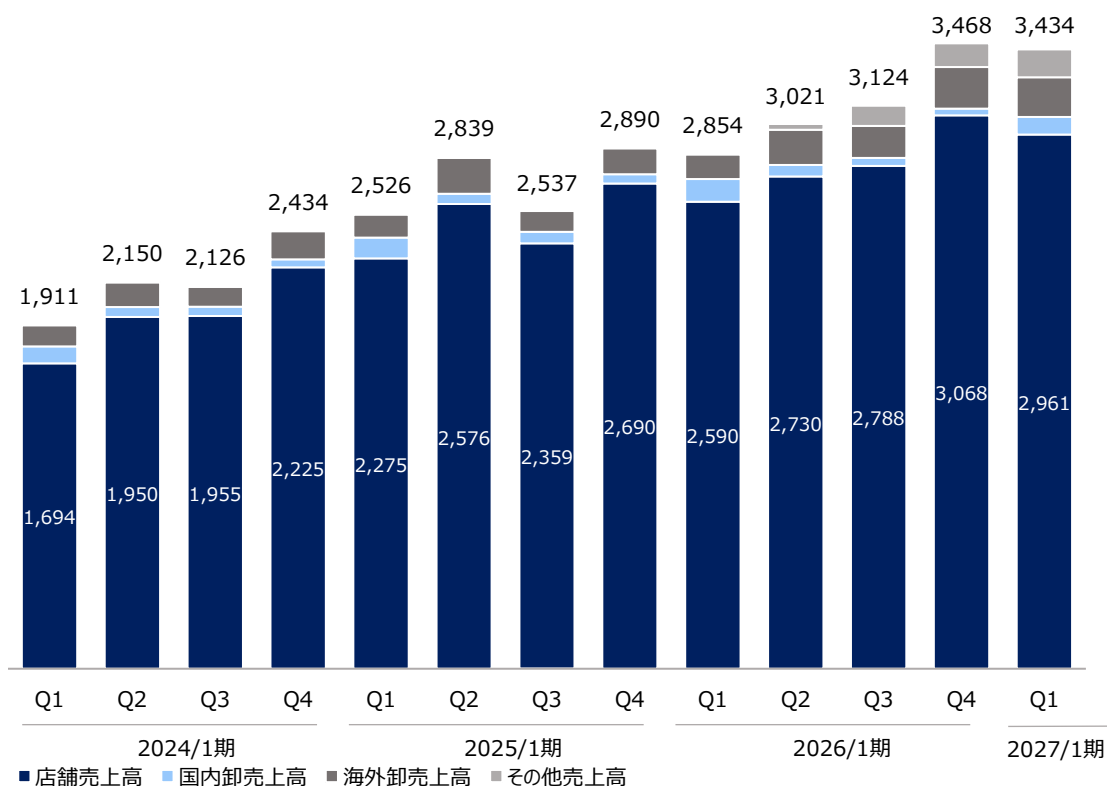


注:
1. 一式単価はフレーム及びレンズの購入単価合計。各期2/1~1/31の集計結果

- 店舗売上が着実な成長を続けており、第1四半期のセグメント売上は前年同期比20.3%増の34億円、セグメント利益は28.8%増の約14億円となり、セグメント利益は過去最高額を更新
- 第1四半期において1店舗の新規出店を実施

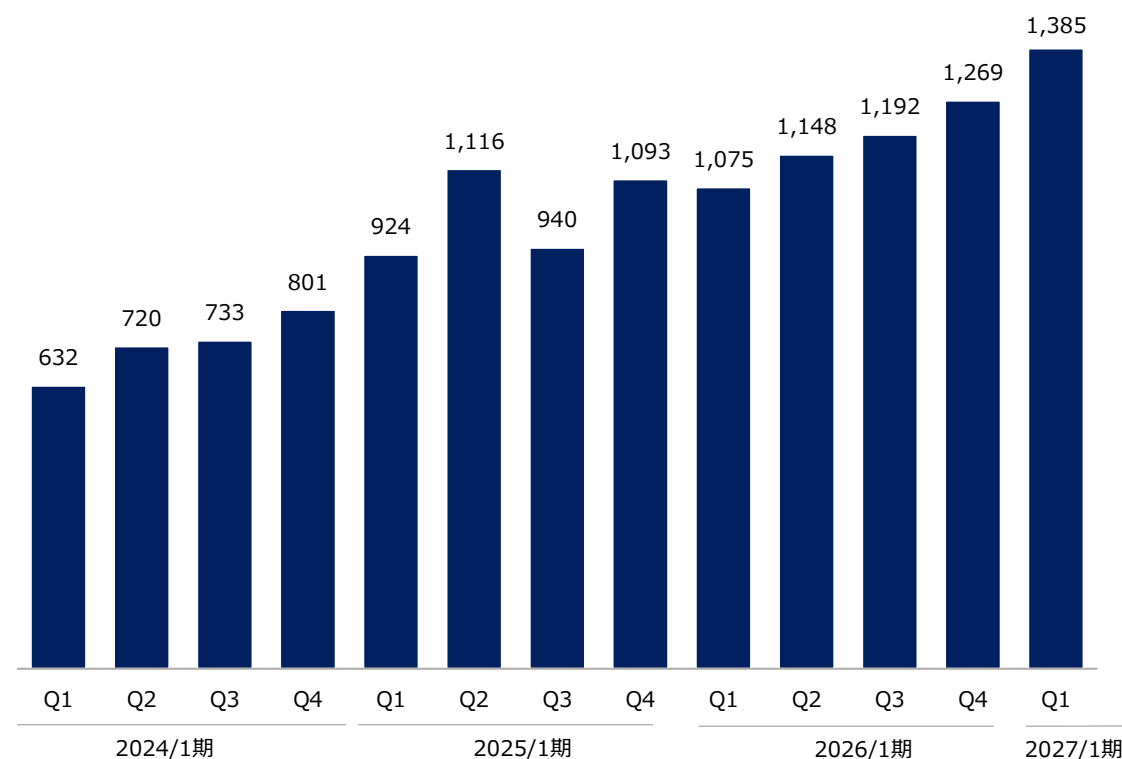
販売経路別セグメント売上

百万円



セグメント利益

百万円



中国5号店出店について

- 2026年4月28日に中国5号店となる「金子眼鏡店 杭州恒隆広場店」を新規オープン
- 浙江省杭州市の中心部、世界遺産・西湖と京杭大運河が近接するエリアに構える杭州恒隆広場（Westlake 66）は、国際的な高級ブランドが集積するプレミアム複合施設です。
- アジアにおける着実なブランドイメージ醸成により、オープン以降順調に推移しています

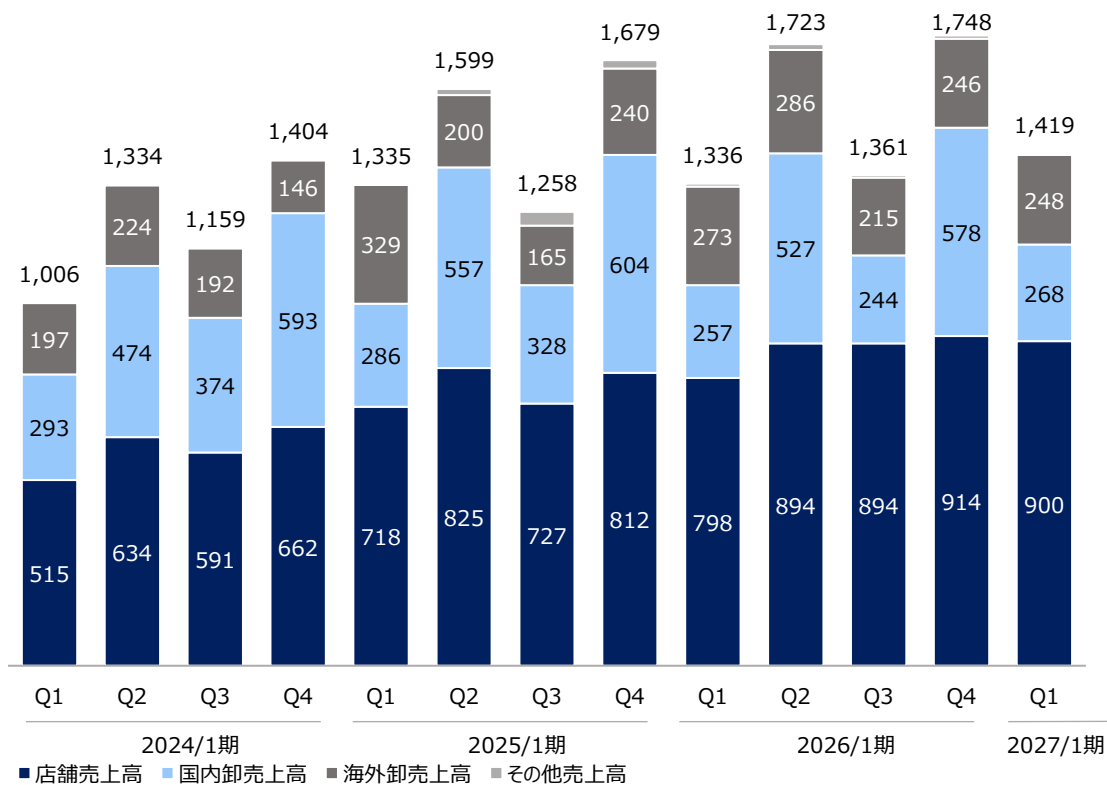


フォーナインズ

- 第1四半期のセグメント売上は前年同期6.2%増の14億円、セグメント利益は前年同期比9.2%増の約4億円
- 第1四半期において2店舗の新規出店を実施

販売経路別セグメント売上

百万円



セグメント利益

百万円



フォーナインズ新規出店



2026年3月 OPEN

フォーナインズ ヒューリックスクエア札幌店



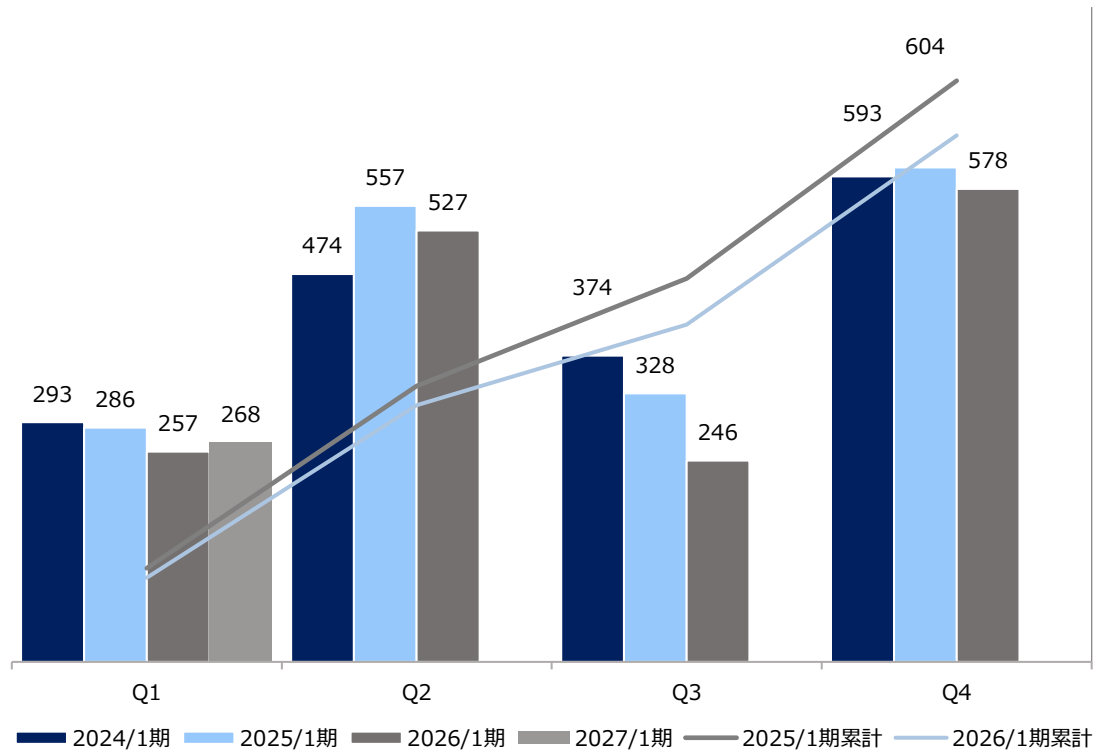
2026年4月 OPEN

フォーナインズ クオーツ心齋橋店

- 国内卸売上は前年同期比4.2%増の約3億円、海外卸売上は9.2%減収の約2億円となった
- 海外卸の減収は一部売上の計上時期が翌四半期以降となったことなどによるもの

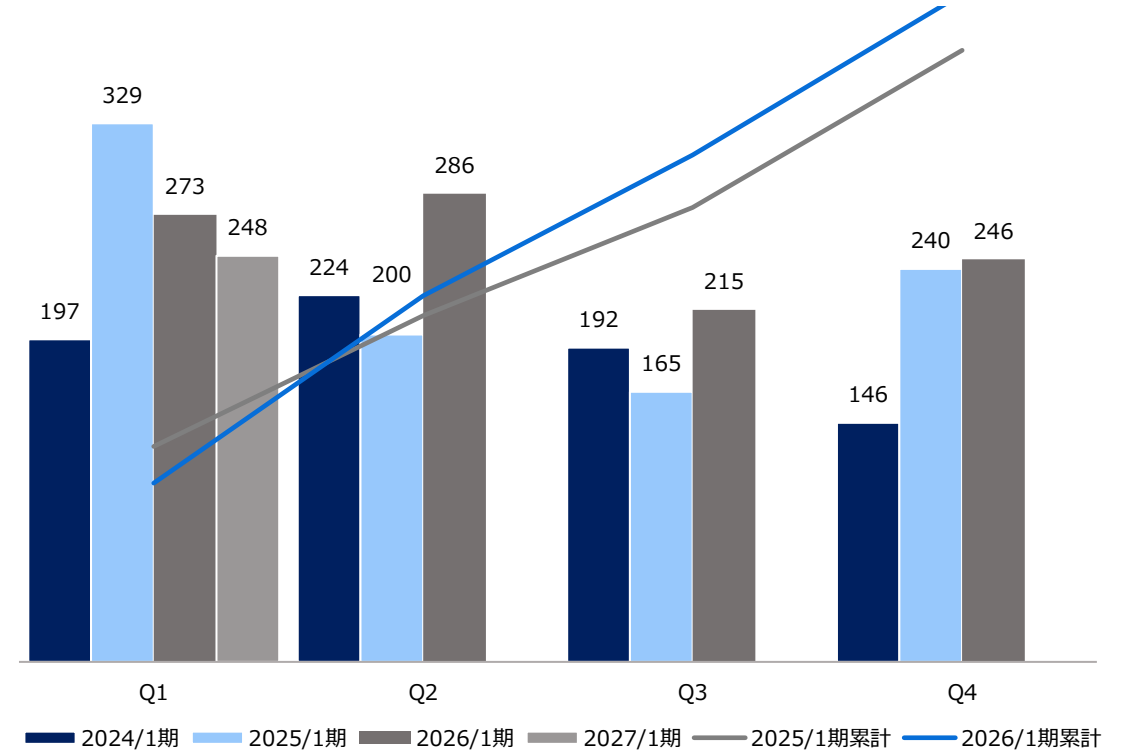
四半期別国内卸売上

百万円



四半期別海外卸売上

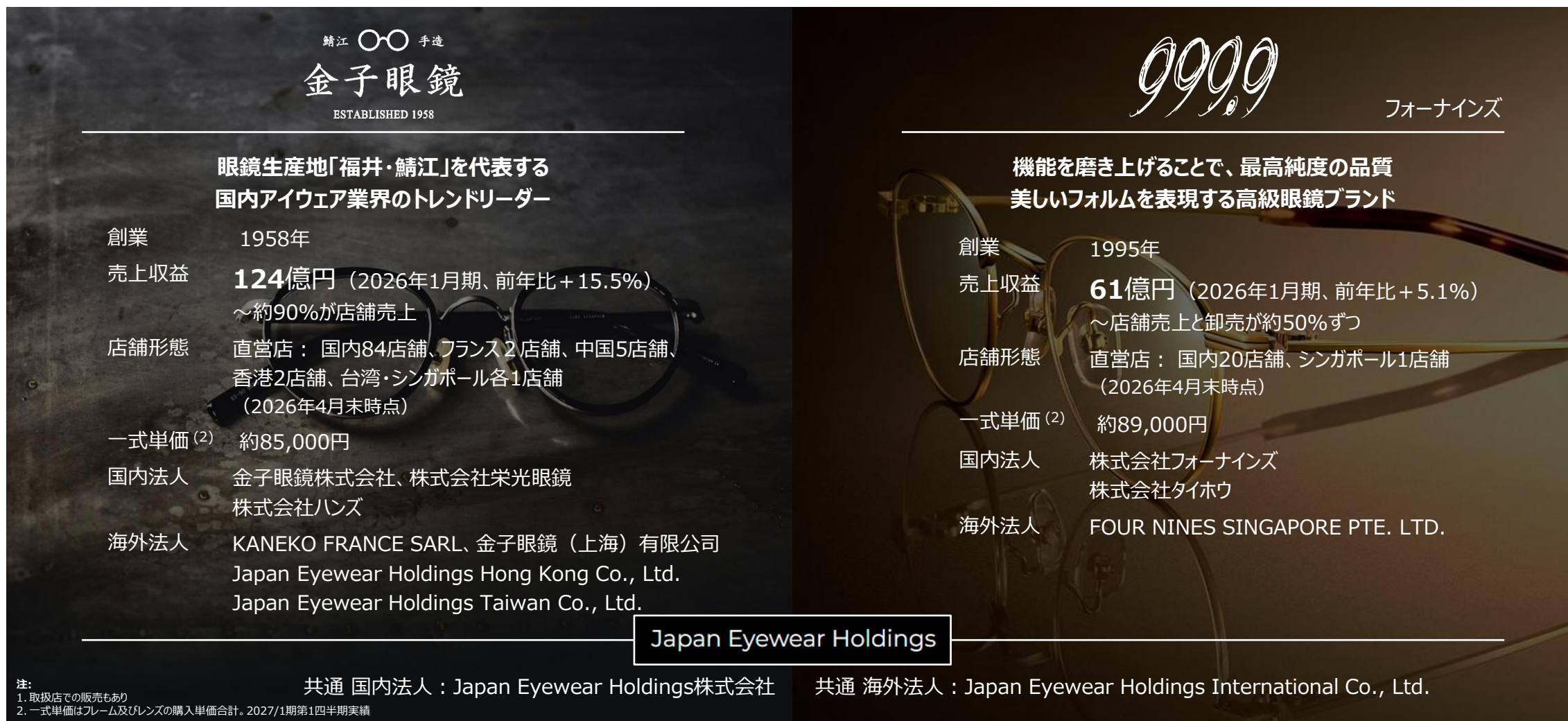
百万円



Appendix

社名	Japan Eyewear Holdings株式会社	
所在地	(福井本社) 福井県鯖江市上河端8-13 (東京本社) 東京都世田谷区成城2-11-12	
創業	1958年 (金子眼鏡創業)	
設立	2019年 (旧Lunettes HD株式会社設立)	
資本金	967百万円 (2026年4月30日現在)	
代表者	代表取締役 金子 真也	
株主構成 (2026年1月31日現在)	金子インベスト株式会社	37.7%
	日本企業成長投資 1号投資事業有限責任組合	4.7%
	Camellia Fund I Cayman, LP	2.5%
	Cerasus Fund I Cayman, LP	2.0%
	Wisteria Fund I Cayman, LP	1.3%
連結子会社数	国内5社、海外6社	

- 世界を代表する眼鏡生産地「福井・鯖江」の熟練したクラフツマンシップにより、自社で企画・デザインする高品質のアイウェアを製造・販売⁽¹⁾



<p>鯖江 〇〇 手造</p> <h2>金子眼鏡</h2> <p>ESTABLISHED 1958</p>		<h1>9999</h1> <p>フォーナインズ</p>	
<p>眼鏡生産地「福井・鯖江」を代表する 国内アイウェア業界のトレンドリーダー</p>		<p>機能を磨き上げることで、最高純度の品質 美しいフォルムを表現する高級眼鏡ブランド</p>	
創業	1958年	創業	1995年
売上収益	124億円 (2026年1月期、前年比+15.5%) ～約90%が店舗売上	売上収益	61億円 (2026年1月期、前年比+5.1%) ～店舗売上と卸売が約50%ずつ
店舗形態	直営店：国内84店舗、フランス2店舗、中国5店舗、 香港2店舗、台湾・シンガポール各1店舗 (2026年4月末時点)	店舗形態	直営店：国内20店舗、シンガポール1店舗 (2026年4月末時点)
一式単価 ⁽²⁾	約85,000円	一式単価 ⁽²⁾	約89,000円
国内法人	金子眼鏡株式会社、株式会社栄光眼鏡 株式会社ハズ	国内法人	株式会社フォーナインズ 株式会社タイホウ
海外法人	KANEKO FRANCE SARL、金子眼鏡（上海）有限公司 Japan Eyewear Holdings Hong Kong Co., Ltd. Japan Eyewear Holdings Taiwan Co., Ltd.	海外法人	FOUR NINES SINGAPORE PTE. LTD.
Japan Eyewear Holdings			
注： 1. 取扱店での販売もあり 2. 一式単価はフレーム及びレンズの購入単価合計。2027/1期第1四半期実績		注： 1. 取扱店での販売もあり 2. 一式単価はフレーム及びレンズの購入単価合計。2027/1期第1四半期実績	
共通 国内法人：Japan Eyewear Holdings株式会社		共通 海外法人：Japan Eyewear Holdings International Co., Ltd.	

Our Philosophy

私たちは、アイウェアを通して、
世界中の人々に「夢」「感動」「幸福」を提供し続けます。

私たちは、アイウェアを通して、
世界中の人々の文化的生活の向上に寄与することを目指します。

私たちは、アイウェアを通してもたらされる繁栄を、
関係する全ての人々と共有し、ともに成長し、社会に貢献していきます。

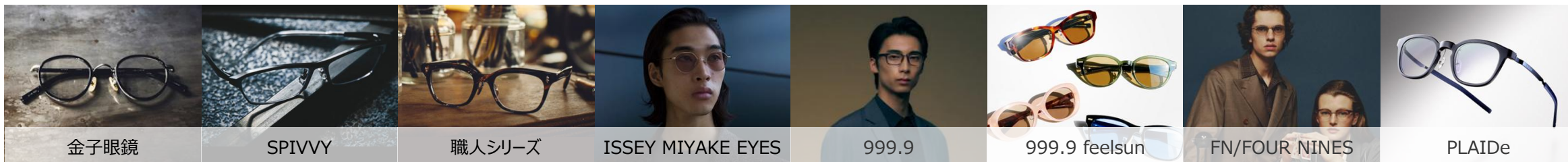


長期ビジョン

クラフツマンシップの伝統と革新を世界へ

ブランドコンセプト

眼鏡の世界三大産地である「鯖江」で培われた職人達の卓越した技とものづくりの魂に加え、デザイン性・機能性・ファッション性を実現する最新技術を融合し、高いクオリティを実現



ブランドポジショニング

- 高水準の情緒的価値・機能的価値を提供することで、他社・他ブランドとの差別化に成功



- ブランド哲学の違いにより、両ブランドがそれぞれ独自のポジションを確立

鯖江 〇〇 手造

金子眼鏡

ESTABLISHED 1958

Japan Eyewear Holdings

999.9

フォーナインズ

眼鏡は文化
作り手の物語とクラフツマンシップを重視
職人・物語・美意識を軸に感性に訴える

眼鏡は道具
機能性・掛け心地の追求が最優先
快適さと構造美を極める理性重視のブランド

デザイン・アプローチ

ヴィンテージやクラシック要素の現代的解釈

プロダクト・ポリシー

職人による手仕事・時間をかけた製造

訴求ポイント

モノと作り手の「背景」に価値がある

ロゴ・アイコン

控えめ。形や質感でブランドを語る

顧客像

世界観と物語を愛する感性派
老若男女偏りなく幅広い層が支持



デザイン・アプローチ

設計が美しさになる「機能美」

プロダクト・ポリシー

自社開発の機構・構造設計に特化した快適設計

訴求ポイント

製品そのものの「性能」に価値がある

ロゴ・アイコン

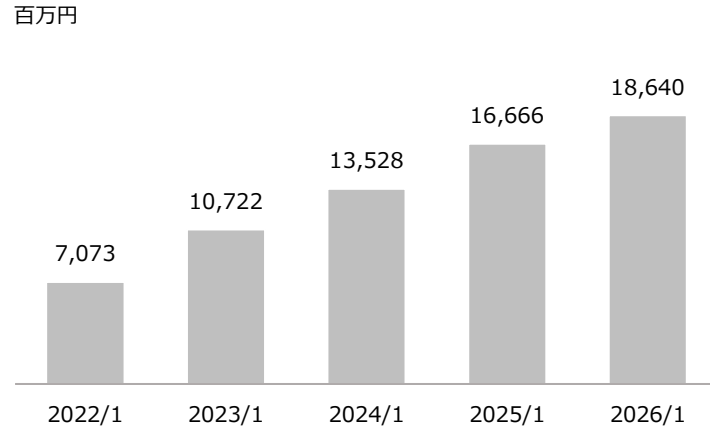
控えめ。フレーム形状などで識別性を担保

顧客像

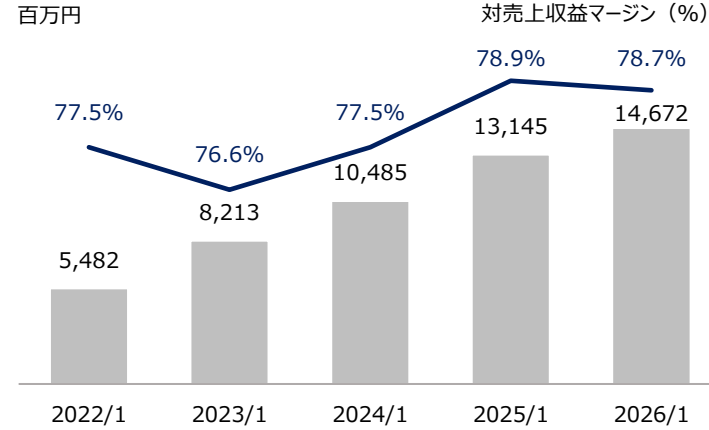
道具としての完成度を求める理性派
40代～50代の男性がメイン顧客層

Key Financials

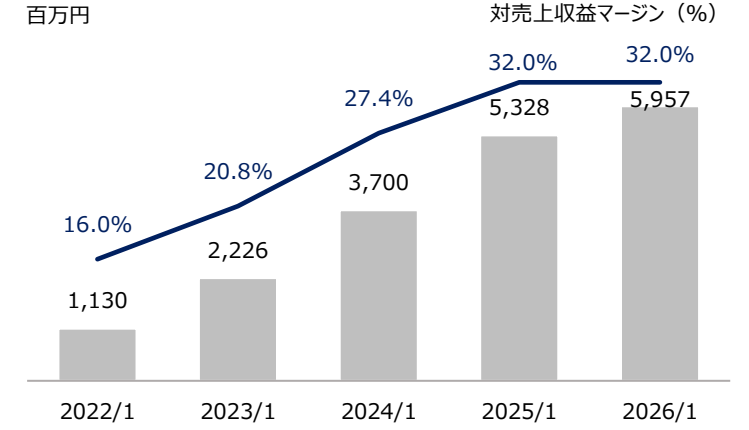
売上収益



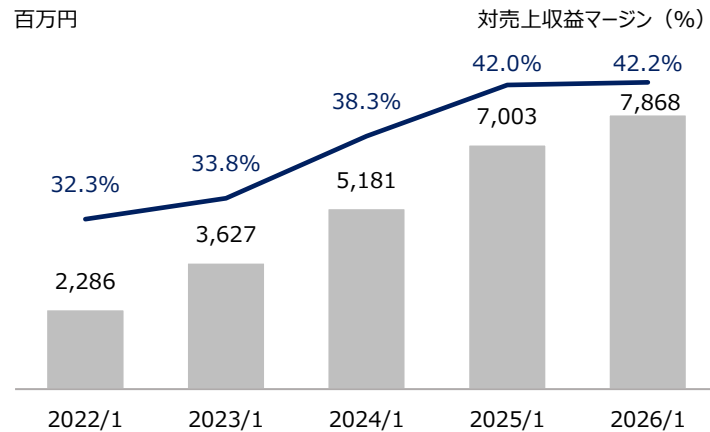
粗利益



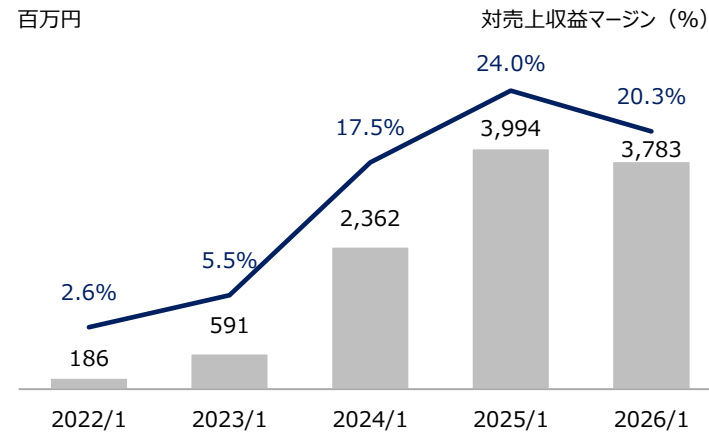
営業利益



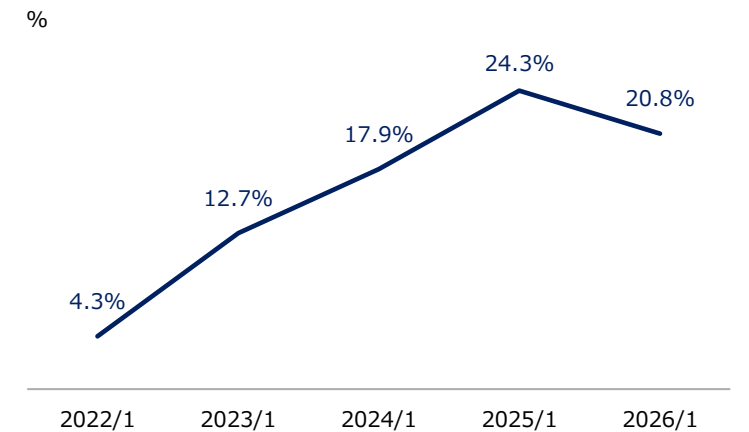
EBITDA (2)



当期利益



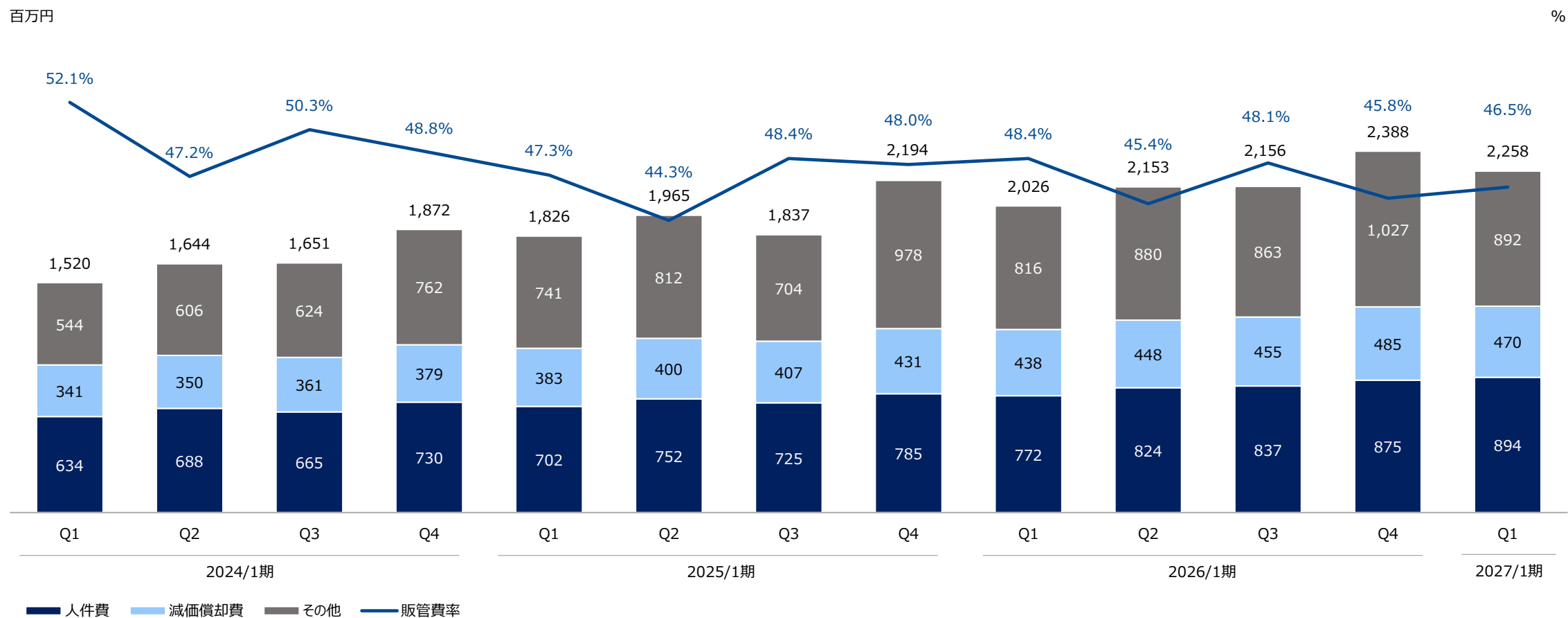
ROE (3)



注:
 1. IFRSベース
 2. EBITDA=営業利益+減価償却費+識別可能資産償却費
 3. 当期利益/(資本金+資本剰余金+利益剰余金) (期末時点)

連結販管費推移

- 増収効果などにより、第1四半期の販管費率は前年同期比1.8ポイント低下



2027年1月期主要施策

- 中期計画達成に向けて、引き続き着実に施策を実施

鯖江 〇〇 手造
金子眼鏡
ESTABLISHED 1958

9999

- 1 両ブランド合計で5店舗以上の国内新規出店を予定
- 2 中国及び周辺諸国において、2店舗以上の新規出店を予定
- 3 海外顧客向け売上は35%を想定（うちインバウンド向け売上は40億円）
- 4 両ブランドにおいて価格改定を実施
- 5 引き続き、厳格なコストコントロールを実施

業績予想

- 2027年1月期通期業績予想は、売上収益は前年比10.5%増の206億円、営業利益は14.2%増の68億円、当期利益は16.3%増の44億円とする

	2026/1期実績	2027/1期業績予想	前年同期比
売上収益	18,640	20,600	110.5%
売上原価	3,968	4,100	103.3%
売上総利益	14,672	16,500	112.5%
売上総利益率	78.7%	80.1%	-
販売費及び一般管理費	8,725	9,700	111.2%
その他の収益/その他の費用 (▲)	10	0	0.0%
営業利益	5,957	6,800	114.2%
営業利益率	32.0%	33.0%	-
金融収益/金融費用 (▲)	▲ 333	▲ 300	90.0%
税引前利益	5,623	6,500	115.6%
法人所得税費用	1,840	2,100	114.1%
当期利益	3,783	4,400	116.3%

株主還元

- 潤沢に産み出されるキャッシュを原資として、株主還元と借入金返済、成長投資を適切なバランスで実施する

潤沢に創出される営業キャッシュ・フロー

- ◆ 積極的な株主還元
- ◆ 借入金返済
- ◆ 国内・海外における店舗投資の実施
- ◆ 製造力強化への投資

配当政策

将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としており、年間配当性向**40%**を目安として配当を実施する方針です。

2027年1月期年間配当は1株当たり**86**円を計画しております。

本資料は、当社グループについての一般的な情報提供を目的としており、当社の発行する株式その他の有価証券への投資の勧誘を目的とするものではありません。

本資料に記載される業界、市場動向または経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではありません。

また、本資料に記載される当社グループの計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断又は考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、経済情勢、市場動向、消費者の嗜好の変化、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。